

新徳新聞

http://www.shin-toku.com

第43号 2009年2月

発行日：2009年1月31日(第1版第1刷)

☎0233-23-3434

✉shinjo-tokushukai@shin-toku.com

発行者

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院
総務課 企画・広報

〒996-0041山形県新庄市大字鳥越字駒場4623

も
く
じ

2面 新年のご挨拶

3面 開院10周年記念式典

4面 院内の出来事
クリスマスピアノコンサート
高校生の作品を展示
通所リハビリ餅つき大会

新年のご挨拶

本年もよろしくお願い致します



「求められていること」を 絶えず問い続けます



院長 笹壁 弘嗣

新年あけましておめでと
うございます。

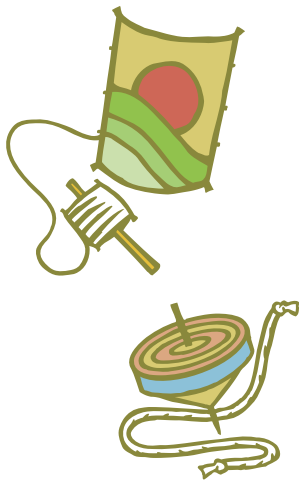
平成17年1月に院長に就任し、5回目の冬を迎えました。おかげさまで、昨年12月には10周年という大きな節目を無事迎えることもできました。今年には私たちにとって新たなスタートです。

平成24年3月に介護療養病棟の全面廃止を控え、3階病棟をどうするかが今年の最大のテーマです。この病棟がなくなる、48名の入所者は、他の施設へ移るか自宅へ戻るかしかありません。そのため在宅サービスを充実させることはもちろん重要ですが、

地域の現状からはそれだけでは不十分です。そこで私たちは、新たな介護施設を院外に造ることにしました。早ければ今年中に完成しますので、ご期待ください。

さらに、空いたスペースをどうするかも考えなければなりません。最上地域には、急性期医療を終えた方が、回復期のリハビリを行う施設がありません。これを当院に造ることができれば、地域のニーズにも応えられるのでないと考えています。

我々に求められていることは何か、どうすればそれができるか、このことを絶えず問い続けていきます。本年もよろしく申し上げます。



新しい出発点となる年に 一層の努力を



健康友の会 喜一郎
会長 須藤

明けましておめでと
うございます。

皆様には益々ご清祥にて、輝かしい新春をお迎えなされ、衷心よりお慶び申し上げます。

昨年は、皆様の絶大なご支援、ご協力により、新庄徳洲会病院は、芽出度く開院10周年を迎え、九月には、新徳十年祭を「祭だじゅう、来てけるじゅう、笑顔いっぱい10周年」のスローガンを掲げ、過去最多の来場者を算え、盛大に行なわれしました。又十二月には、開院10周年の記念式典並びに祝賀会を、これ又、盛會裡に執り行なわれました。これもひとえに、皆様のご支援の賜と重ねて衷心より御礼申し上げます。

げます。

平成二十一年。開院十一年目。今年新しい出発点として、一層の努力を傾注せねばならない年と考えます。

私共健康友の会も、心を新たに、院長先生始め病院の皆様と関係を密にし、交流を深めながら、健康友の会の充実と、活性化を図り、新庄徳洲会病院の益々の発展の為に、一致協力して頑張りたいと想います。

会員ご一同様のご理解とご協力をお願い申し上げ、末筆ながら、院長先生始め病院の皆様並びに会員ご一同様の益々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。





新年のご挨拶

本年もよろしくお祝い致します

力強く一歩一歩 大地を踏みしめて



看護部長
大友 絹子

導を噛み砕いて飲み込み、そして反芻し、仕事の栄養分をいただき、成長し、良い病院・皆様に選んでいただける病院にするよう気持ちを引き締めて参ります。

謹賀新年

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年が丑年。牛は足が短く、体は肥えて、尾は長く細い。力強く田を耕し、車を引く。

今年の看護部は牛のようでありたいと思っております。力強く一歩一歩、新庄・最上の大地を踏みしめて着実堅実に健康増進を図ります。

また、牛は草を食べて反芻はんすうします。噛み砕き噛み砕きを繰り返して大きく肥えた体を作り出します。

私共も皆様のご意見、ご指



おかげさまで新庄徳洲会病院をご利用して下さる方も増加しております。私共職員一同、皆様のご期待に応えるべく努力を続けます。今年もご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひします。

地域の健康と福祉のため 最善の方法を



事務長
成田 政彦

新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお祝い致します。

今年、病院の病棟構成が変わる予定です。

現在皆様に介護保険を使ってご利用頂いております3階病棟（介護療養病棟）の機能を、外に新しく造る福祉施設に移して、3階病棟は回復期リハビリ病棟にさせて頂く計画でおります。

国全体の方針で、介護療養病棟を平成23年度までに全廃するということになっております関係で、やむを得ずそのような計画を立てさせて頂きました。

国の考え方にも一理あるとは思いますが、多くの高齢者福祉施設が医師常駐体制になっていないため、容態が急変しやすいご高齢の方々にとって、介護療養病棟は何かあってもすぐに医師に診てもらえるという安心感から、利用率98%という結果になっているのではないかと思います。

このような病棟を無くすることは誠に残念ですが、外に造る福祉施設でカバーできるように整備していきたいと思っております。

また、最上地区ではまだ為されていない訪問リハビリも実施していく予定です。

地元の皆様の健康と福祉を護る為、今後も最善の方法を模索していきたいと思っております。



垂れ幕の寄贈について

右の写真中央の垂れ幕は、医療法人徳洲会の徳田虎雄理事長直筆の手帳を用いた物です。これは、置賜獅子の会支部長の高岡亮様より寄贈していただきました。

今回、開院10周年記念品の手ぬぐいの包装にも同様の物を使用しております。ご希望の方は、当院地域連携室までご連絡ください。



平成20年
12月7日(日)

開院 10 周年記念式典・祝賀会を挙

12月7日午前11時より、リヴィン
トンにて新庄徳洲会病院開院10周年
記念式典と祝賀会を挙し、職員を
含めて約270名が出席しました。

携わっていただいた 皆様に「感謝」を

式典では、笹壁弘嗣院長が「開設に
ご助力いただいた山科朝雄元県議
議長、守谷吉男元県議、阿部昭吾元
衆議院議員、伊藤誠之県議、渡部秀
勝戸沢村長、病院の礎となってく
ださった健康友の会初代会長である山
尾弘昌さんをはじめとする役員の皆
様、そして当院の歴代院長の思いに
応えていきます。」と決意ある式辞を
述べました。また、医療法人徳洲会
の徳田恵子理事が徳田虎雄理事長の
メッセージを代読しました。

続いて、岸宏一参議院議員、山尾
順紀新庄市長、山科朝雄元議長など
から祝辞をいただきました。特に、
山科元議長からは誘致の問題から建
設に至った熱意と苦勞を話してい
た。出席した職員は自分の職場に
対する地元地域の期待の大きさを改
めて実感しました。

終盤には、功労者の表彰を行い、
代表で健康友の会須藤喜一郎会長に
当院への思いを語っていただきまし
た。

歴代院長が 当時の思い出を披露

祝賀会では、当院で院長を務めた
鹿児島県中種子クリニックの高野良
裕院長、山形徳洲会病院の門間文行
総長、函館共愛会病院の福島安義院
長より、医療講演を軸とした活動の
エピソードを交えた祝辞をいただき
ました。

また、ピアニストの山季布枝さん
の生演奏は会場を魅了。その後、若
柳流社中新庄民舞リボンの会の皆さ
んによる演舞や伊藤美代子さんの歌
謡で大いに盛り上がりました。
華やかで和やかに進んだ祝賀会は
湘南鎌倉総合病院の整形外科診療部
長西本邦弘医師の豪快で熱い万歳十
唱で閉会しました。



山尾順紀新庄市長



山科朝雄元県議会議長



岸宏一参議院議員



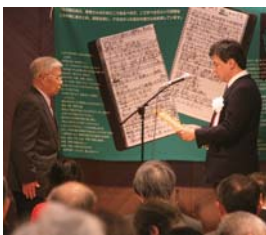
新庄徳洲会病院
笹壁弘嗣院長



健康友の会
須藤喜一郎会長



功労者表彰
新庄土地改良区 佐藤喜代志様



功労者表彰
地権者代表 間治兵衛様



医療法人徳洲会
徳田恵子理事



守谷吉男元県議会議員



共愛会病院
福島安義院長



中種子クリニック
高野良裕院長



山形徳洲会病院
門間文行総長



西本・阿部両医師による
万歳十唱



東京西徳洲会病院
鈴木満事務局長



ピアニスト
山季布枝さん



伊藤誠之県議会議員



院内の出来事

今回は、年末年始に行われたイベントと院内ギャラリーのご紹介です。

クリスマスピアノコンサート開催

12月15日、ピアニスト^{たけもとときょうじ}岳本恭治さんと山季^{やまき}布枝^{のぶえ}さんをお招きし、クリスマスコンサートを開催しました。

会場には、入院患者様やそのご家族、地域の皆さんなど昼夜合わせて140名の方々が生演奏を聴こうと集まりました。

コンサートでは、ショパンやシューベルトなどの名曲に加え、クリスマスメドレーが演奏されました。そして、昼の部はお馴染み花笠音頭、夜の部では賛美歌をピアノ演奏に合わせてご来場の皆さんと一緒に歌いました。



院内ギャラリーに新たな作品を展示

1月9日、山形県立新庄北高等学校にて絵画の引渡し式が行われました。昨年7月に同校美術部顧問の土家和明先生にお願いし、約6ヶ月の制作期間を経て、引渡しとなりました。

今回制作してくれたのは、森沙織さん(2年)を中心に、高橋美和さん、横山悠美さん(ともに1年)の3名です。作品名は「Union」(ユニオン)。画板を三等分し、それぞれが全く別の発想で描いた作品の融合であるため、この名前に決まったそうです。

この作品は、当院1階に展示しております。

ぜひご覧ください。皆様のご感想をお待ちしております。最後に、新庄北高校の土家先生、美術部の皆さん本当にありがとうございました。



新庄北高校美術室にて引渡し



通所リハビリ ペったん、ぺったん、お餅つき

1月16日、通所リハビリテーションで恒例の餅つき大会が行われました。

臼と杵を使う本格的なやり方は、最近ではあまり見かけませんが、経験豊富な利用者の皆さんのアドバイスを受けながら、スタッフが交代しながらお餅をつきました。杵を振り下ろす度に利用者の皆さんから元気な掛け声が上がりました。

つきあがったお餅を食べる利用者さんは、皆笑顔でお正月の雰囲気を楽しみました。



強力な助っ人



あんこ餅の出来上がり